



▲前夜祭では「Cowpunchers」が熱いバンド演奏で会場を盛り上げました。

ダンス講習では、熊本市・東京から講師をお迎えし、来場参加者にレクチャーをしながら一緒に素敵なダンスを披露されました。その後、3つのバンドがカントリーミュージックを生演奏し、会場はアメリカ南西部の懐かしい空気に包まれました。

マルシェも同時開催され、町内外から15店舗参加し、来場者はグルメと音楽を満喫し、休日のひと時を過ごしました。



◀軽快なステップでカントリーダンスを披露されました。

カントリーミュージックの祭典

カントリーミュージックフェスティバル開催

10月19日(土)～20日(日)にかけて、ホテルセキアで音楽イベント「Country Music Festival in nankan」が開催されました。主催は石窯pizza kapok(勝田壽寛さん)で、イベントを通じて町の活性化に繋げることが出来ればと、南関町住民提案型事業補助金を活用し昨年に引き続き開催。

19日(土)の前夜祭はセキアイベントホールで行われ、佐藤町長も参加しカントリーダンスやバンド演奏を楽しみました。

20日(日)の祭り当日はセキア野外ステージで実施。カントリー



第48回南関町文化祭(南関町文化協会主催)が11月3日(日)から4日(月)にかけて、南関中学校体育館で開催されました。

1日目のステージ発表には文化協会加盟の22団体が出演し、ピアノや謡曲、ダンスに日本舞踊など、さまざまなプログラムが披露されました。他にも、朗読や詩吟、大正琴やオカリナによる演奏などもあり、会場から大きな拍手が送られました。

2日目のカラオケ発表会には町内のカラオケ愛好者が参加し、自慢の歌声を披露しました。

期間中は1階入口奥にて、書道や短歌、絵画、生け花、陶芸など多くの作品が展示され、来場者は興味深そうに作品を鑑賞しました。



芸術の花 秋を彩る 第48回 南関町文化祭

はじめての収穫体験

まるごと田舎体験 稲刈り・芋ほり

10月20日(日)、まるごと田舎体験事業推進協議会(阪井義則会長)は上長田にある圃場でまるごと田舎体験事業の稲刈りと芋ほりを行いました。この事業は平成5年から行われており、今年で30回目を迎えます。当日は天気にも恵まれ、町内外から集まった6家族28人が参加。町内から参加の大仁田遥乃さんは初めての手刈りを体験し、稲穂を見ながら「はやく、おいしいお米を食べたいな」と話しました。参加された家族には、南関町生活研究グループお手製の弁当が振る舞われ、また、11月に開催された「第34回南関町ふるさと関所まつり」にて新米10キロをお渡ししています。



▲たくさんの稲と芋が収穫できました。

多種多様なペットが大集結

火乃国お犬アニバーサリー2開催

10月20日(日)に南関町役場防災広場で「火乃国お犬アニバーサリー2」が開催されました。このイベントでは、犬を引いて歩く技術を競う「ハンドリングコンペ」や、ドッグショー、豪華景品をかけたジャンケン大会が開催され、会場は大いに盛り上がりました。また、ペット自慢大会も行われ、ダックスフンドやポメラニアンといった犬種から、フサオマキザルなど普段見ることが出来ない珍しいペットも参加し、観客からは驚きの声や歓声が上がりました。



空のボトルを手にお水を飲む様子を披露しました。



▲様々なペットが競い合いました

貴重な収穫体験

三小キウイ収穫&稲刈り体験

10月10日(木)、南関第三小学校(村岡英治校長)の1,2年生が同校近くのキウイファームでキウイ刈りを体験しました。身長より高い場所に実っているゴールデンキウイを、ジャンプしたり、先生に担がれて収穫をしました。翌11日(金)には福山農園の福山正英さん指導の下、5年生が稲刈り体験をしました。相谷地区の地元農家さんや婦人会の皆さん、保護者も参加し、大きく育った稲を収穫。稲刈り後は稲を竹に天日干しました。乾燥を終えた稲は脱穀をし、「九州のお米食味コンクール」に出品をしています。



▲先生に担がれて収穫する児童



▲地域の方に稲の縛り方を教わる児童



▲稲を竹に天日干しする児童たち